

修正版

PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

プレスリリースのお詫びと訂正

平成 26 年 2 月 24 日(月)に配信いたしました「ガルーダ・インドネシア航空 2013 年度の業績及び 2014 年度の経営計画を発表」のプレスリリースにおいて、記載内容に一部誤りが御座いました。皆様には大変ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げますと共に、下記の通り訂正させていただきます。

●対象プレスリリース:

「ガルーダ・インドネシア航空: 2013 年度の業績及び 2014 年度の経営計画を発表」

●訂正内容:

(誤)ポロニア国際空港

(正)クアラナム国際空港

(誤)シティリンク用 ATR72-600 型機:6 機

(正)ATR72-600 型機:6 機

(別添)

・訂正リリース

以上



修正版

PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

2014年2月24日

ガルーダ・インドネシア航空：2013年度の業績及び2014年度の経営計画を発表

TYOGA-6-FEB/13

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2014年2月10日(月)、2013年度の業績と2014年度の経営計画を発表しました。

2013年度の業績及は、以下の通りです。

【2013年度の業績】

	2013年度	2012年度	増減率(%)
売上高	37億2,000万USドル	34億7,250万USドル	+7.1%
営業利益	5640万USドル	1億6,810万USドル	-66.4%
当期利益	1,120万USドル	1億1,080万USドル	-89.9%
旅客数	2,497万名	2,042万名	+22.3%
搭載貨物	345,923トン	280,285トン	+23.4%
ASK(有効座席キロ)	431億3,000万	360億	+19.8%
イールド	9.06USセント	9.65USセント	-6.1%
運航便数	196,403便	153,266便	+28.1%
機材稼働時間	10時間44分	10時間44分	-
ロードファクター	74.1%	75.9%	-1.8%

2013年度の業績結果は、ドル高によるルピアの大幅な下落、また、ガルーダ・インドネシア航空およびシティリンクへの新規機材投資が大きく影響しました。

■新規導入機材

2013年には、以下の36機の機材を新たに導入、保有機体数は140機(平均機体年齢5年)となりました。

- ボーイング 777-300 型機:4 機
- エアバス A330-200 型機:2 機
- エアバス A330-300 型機:1 機
- ボーイング次世代 737-800 型機:10 機
- ボンバルディア CRJ-1000 NextGen 型機:7 機
- ATR72-600 型機:2 機
- シティリンク用エアバス A320 型機:10 機



修正版

PRESS RELEASE

ガルーダ・インドネシア航空 プレスリリース

【路線網の拡大および新サービスの提供について】

■新規開設路線

<国内線>

バンドン	-	デンパサール路線
バタム島	-	ペカンバル路線
バリクパパン	-	バンジャルマシン路線
バリクパパン	-	マナド路線
バリクパパン	-	ベラウ路線
ジャカルタ	-	ブンクル路線
ジャカルタ	-	パンダルランポン路線
ジャカルタ	-	タンジュンピナン路線
マカッサル	-	ソロン - マノクワリ - ジャヤプラ路線

<国際線>

スラバヤ	-	シンガポール路線
デンパサール	-	ブリスベン路線
ジャカルタ	-	大阪(関西)路線
ジャカルタ	-	パース路線

<コードシェア提携による路線網の拡大>

エティハド空港とのコードシェア提携により、欧州および中東地域 6 箇所(フランクフルト、ブリュッセル、ミラン、デュッセルドルフ、ミュンヘン、バーレーン)へネットワークを拡大しました。

■メダクアラナム国際空港のハブ空港化

2013年5月にはインドネシア西部にあるメダン空港のハブ空港化計画を実行しました。これはメダン空港から周辺都市(ペカンバル、バタム、パレンバン、パダン、アチェ特別州、ペナン等)への利便向上を目指すもので、これらの路線はボンバルディア CRJ1000 型機で運航しています。

■ファーストクラスの導入

2013年7月には、Boeing777-300ER 機の導入に伴い、ファーストクラスを新設。エグゼクティブクラス、エコノミークラスにおいても全く新しいサービス・コンセプトを採用しました。

■サブブランド「Explore(エクスプロア)」、「Explore Jet(エクスプロアジェット)」の立ち上げ

2013年11月には国内路線強化の一環として、ATR72-600 の導入に合わせ、サブブランドである「Explore(エクスプロア)」を立ち上げました。加えて、「Explore(エクスプロア)」の新しいサブブランド「Explore Jet(エクスプロアジェット)」には、2012年10月よりインドネシア西・東部を結ぶ路線に導入していたボンバルディア CRJ1000 型機を使用します。



修正版

PRESS RELEASE

ガルダ・インドネシア航空 プレスリリース

【2013年の受賞歴】

ガルダ・インドネシア航空は、サービス、運航業務、人的資本開発、およびグッドコーポレートガバナンスの分野において、これまで国内および国際機関から合計 82 の賞を受けました。

<国際機関>

スカイトラックス社(2013年6月)	World's Best Economy Class of 2013 Best Economy Class Airline Seat 2013 世界優良航空会社 10位中、8位
スカイキャナー社	アジア太平洋 機内食 賞 2012 最優秀 長距離機内食賞 トップ 5 短距離機内食賞
GACA キング・アブドゥルアズィズ国際空港	ベスト航空会社 メッカ巡礼期 1433H/2012 賞
フロスト&サリバン社	ASEAN プレミアム航空 オブザ イヤー賞
ロイモーター社	顧客満足賞 国内線 オブザイヤー2012
ビジネス・インサイダー(米ビジネス誌)	世界優良航空会社 20位中、7位

<国内機関>

Fortune インドネシア誌	The Most Admired Company 2013
キャレ(Carre CCGL)	コンタクトセンターサービス賞 2013
Marketeters	Action for Earth 2013 賞

<「グッドコーポレートガバナンス」に関する受賞>

アメリカコミュニケーション連盟(LACP)	「世界トップ 100 年次報告 最高級ランク」 「航空および防衛カテゴリー 最高級ランク」 「輸送および物流カテゴリー 最高級ランク」 「2011/2012 年 LACP 世界優秀年次報告書 特別賞」 など
-----------------------	--

【2014年度の経営計画】

グローバルエアラインとしてさらなる飛躍を旨とし、2014年3月に正式にスカイチームに加盟予定です。この加盟により、ガルダ・インドネシア航空のお客様は世界 1,024 の都市へのアクセスが可能になります。

■新規導入機材 計画

2014年には、以下の 27 機の機材導入を計画しており、これにより平均機体年齢は 4.5 年となる予定です。

- ボーイング 777-300 型機: 2 機
- エアバス A330 型機: 4 機
- ボーイング 738 型機: 12 機
- ボンバルディア CRJ 型機: 3 機
- ATR72-600 型機: 6 機

また、2014年中にはロンドン、マニラ、およびムンバイへ新たな国際便を開設。路線網を拡大の他、年内にはシテイリンクの IPO を達成、Gapura Angkasa の買収及びデンパサール空港に専用ターミナルを完成させる予定です。なお、ガルダメンテナンス施設(GMF)は新たに 16 機収納可能な格納庫がオープン予定です。

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルダ・インドネシア航空会社 篠

【E-Mail】 tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルダ・インドネシア航空 PR 事務局 齋藤・松茂良(株式会社イニシャル内)

【E-Mail】 garuda@vectorinc.co.jp 【電話】 03-5572-6073

